

3年生 社会科「道具のうつりかわり」

2/8(水) 大沼分校で昔の道具調べ

作成:宮宿小 地域活動推進員 堀 薫

大沼分校に保管してある
昔の道具を見て来ました!



はがま



ほろ
幌つき箱ぞり



ミシン



「とうみ」とは、稲や豆などを脱穀したものを、風を起こして穀物とゴミを分別する道具です。

大沼分校の2階の教室や廊下に、たくさんの昔の道具が展示してあり、実際に手に取って見たり使ってみたりと、見るだけでなく触れることが出来てとても良かったです。全ての道具に名前と使用方法が掲示してありましたが、どうやって使うかわからない道具は、長岡信悦先生に聞いて教えてもらいました!

とても分かりやすく説明していただきました。

とうみ



ちく おん き
蓄音機



電話き



ご だま そろ ばん
五玉算盤



★感想★

- ・ほろつき箱ぞりが高級車だと知ってびっくりしました。
- ・土人形を見てびっくりしました。本当に土で作った人形なのかなと思いました。
- ・今の炊飯器は、電気を使ってご飯がたけるけど、昔のはがまはどうやってたけるのかを調べてみたいです。
- ・今の電話はボタン式なのに、昔はダイヤル式で電話をしていたのがびっくりしました。ダイヤルを回したら「カタカタ」と音がして面白かったです。
- ・昔はせんたく板をどうやって使っていたのか調べてみたいです。
- ・食物だなが印象に残っています。最初は冷蔵庫だと思いました。でもよく見ると全然違うものでした。冷蔵庫が昔からどうやって変わったのか調べてみたいです。

